

第4回 東アジア“子ども学” 交流プログラム

【開催趣旨】

子どもはどのように言葉を獲得し、発達していくのか。脳科学研究で、現在どこまで解明されているのか。また、社会的・文化的環境、親子のかかわりなどによって、言葉の発達はどうに影響されるのかなど。日本、中国、韓国の研究と実践を比較しながら、各国の専門家が検討していく。

【基調講演】

脳科学と言語 小泉英明

(日立製作所役員 日立基礎研究所フェロー)

【公開シンポジウム】

幼児のリテラシー習得に及ぼす 社会文化的要因の影響 ～日・中・韓比較～

内田伸子 (日本・お茶の水女子大学教授)

周 念麗 (中国・華東師範大学准教授)

李 基淑 (韓国・梨花女子大学教授)

東アジアでの研究と実践 言葉の発達と脳科学



【日時】

2009年9月11日(金)
10:00~17:00

【場所】

お茶の水女子大学
理学部3号館701室

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1



●参加費：無料。事前登録制、先着順。
定員200名になり次第締切。

お申し込み方法

参加ご希望の方は、インターネットか往復はがきにて、CRN事務局宛てにお申し込みください。
9月上旬に参加票をお届けします。定員に達した時点で締切とさせていただきますので、ご了承ください。

◆往復はがき

お名前、所属、ご住所、メールアドレスまたはお電話番号、参加会議名：「第4回 東アジア子ども学交流プログラム」をご明記のうえ、事務局までお送りください。なお、お送りいただいた個人情報は当プログラムに関する目的以外には使用いたしません。

◆インターネットからのお申し込み

当プログラムのホームページから直接お申し込みください。

<http://www.crn.or.jp>

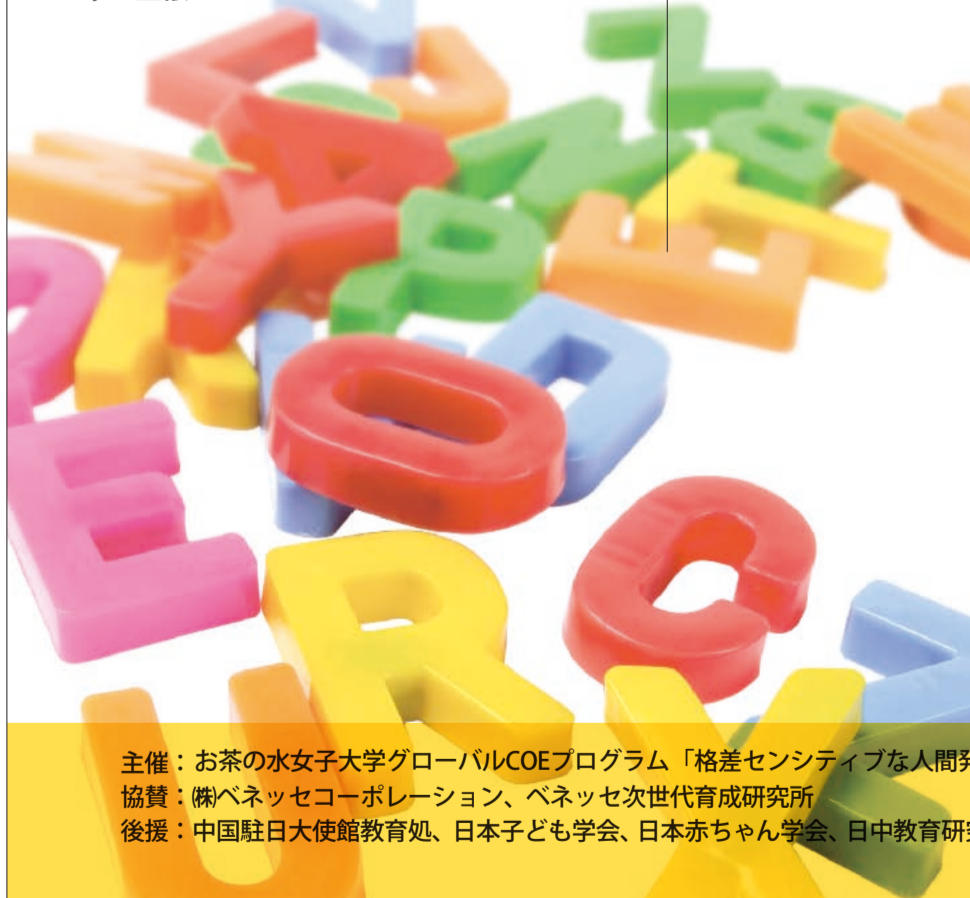
事務局：東アジア“子ども学”交流プログラム実施事務局
〒101-8685

三井ビル16階(株)ベネッセコーポレーション内)

チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)

TEL:03-3295-0293

(10:00~12:00、13:00~17:00、土・日・祝日を除く)



主催：お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」・Child Research Net (CRN)

協賛：(株)ベネッセコーポレーション、ベネッセ次世代育成研究所

後援：中国駐日大使館教育処、日本子ども学会、日本赤ちゃん学会、日中教育研究交流会議